



政 晴 会 樋 口 直 喜 12
戦略的な広報計画の策定を

問効果的にシテイセールスの推進と市民の愛着や誇りの醸成を図るためには一体的かつ戦略的な計画の策定をすべきであると考えますが、市の見解は。



答広報監 平成27年度に策定した川越市シテイセールス基本方針の目的や基本的な考え方を踏まえ、魅力ある情報発信につながるような広報戦略プランの策定に向けて、具体

問市内外への情報発信



政 晴 会 明 ヶ 戸 亮 太 13
避難標識の早急な改修を！

問市民の安全のためにも、避難場所案内標識の早急な改修が必要と考えるが、2年間「検討」から進んでいない。そこで今後の更新予定について伺う。

問市内外への情報発信

答危機管理監 避難場所案内標識の更新については、表示内容、機能面、費用面等から再検討が必要と考えている。具体的には、国際化の進展に伴う英語併記、夜間でも見

問災害時の対応
問市立図書館の運営



市民フォーラム 伊 藤 正 子 14
障害者差別解消法への対応

問当事者の立場で困りごとを体験し、理解するために同法に関する研修が必要だと思われるが、どのように市は考えているのか伺う。

答総務部長 障害を理由とする差別の解消の推進を図るためには、継続的に研修を実施していくことが重要である。来年度以降については、「新たに職員になった者」およ

問障害者差別解消法
問介護を応援する制度を



び「新たに管理職になった者」を対象に障害者差別解消法の趣旨や、それを踏まえた市の対応についての周知を図り、市の事務、事業において職員の適切な対応が図れるように努めていきたい。



公 明 党 近 藤 芳 宏 15
金融機関の知見を活かせ！

問市と金融機関との連携のゴールイメージは産官学金労言の地域の総力結集だが、埼玉りそな銀行とは今後どのような取り組みが想定されるのか。

問市と金融機関との連携

答総合政策部長 今年度に取り組みビジネスマッチングによる市内企業の販路拡大支援などの2事業のほか、具体的な検討はしていないが、埼玉りそな銀行の取り組み事例

問住みよい地域づくり
問市と金融機関との連携



政 晴 会 川 口 啓 介 16
幼老複合施設の整備を

問子どものための施設と高齢者のための施設を複合化することで、子どもにも高齢者にも良い効果があり、整備費用も削減できる。市長の考えは。

答市長 特別養護老人ホーム等の老人福祉施設、保育園等の児童福祉施設については、現在、その必要量を確保するため、それぞれ整備を推進している。

問幼老複合施設
問アクティブシニア応援

これらの施設を幼老複合施設として、一体的に整備していくことについては、高齢者と子どもたちが触れ合うことによる双方への良い効果も期待されていることから、今後の福祉サービスのあり方の一つとして、本市での整備についても、調査・研究していきたい。



日本共産党 池 浜 あ け み 17
生活困窮者の自立相談支援

問川越市自立相談支援センターを1年間実施し、相談者を支援した際に、どのような課題がみえてきたのか。

問生活困窮者

答福祉部長 生活困窮者は、複合的な問題を抱えており、その問題が複雑化・深刻化してしまうと、困窮状態からの脱却が困難になってくる。そのため、早期に発見し、自立へ向けた支援を

問暮らしを守る施策
問植栽に対する市の考え

早い段階で相談してもらうことにより、予防的な支援を行い、積極的な問題解決を図ることも可能であると考えられるので、今後とも制度の周知について広く実施していきたい。